

Case. 01

神戸大学 国際文化学部



お部屋探しの窓口は信頼のおける大学生協で、そして安心・安全な大学生協オリジナルマンションに決めました。このマンションならと親も安心してくれました。

残念ながら事前に部屋の中を見ることはできませんでしたが、お部屋をイメージしやすい図面や写真で丁寧に対応していただき、そして実際に自分の足でも現地を確認し、満足のいくお部屋を探すことができました。

私の場合は、利便性を重視しての部屋探しでした。学生のために生協が携わって建てられたこのマンションは、大学へ徒歩で通学でき、日常の買い物にも不自由なく静かな環境です。お部屋探しのポイントは、何を重視するのか優先順位をきちんと決めておくのがいいと思います。

入居して数か月が過ぎましたが、快適な生活を送れています。

小さなことですが、マンション敷地内にゴミ置場があるのも助かっています。忙しい朝や雨の日のゴミ出しも苦になりません。

Case. 02

神戸大学 医学部保健学科



私の部屋の一押しはとにかくキッチンもお部屋も広いことです。

ベランダへ出る窓も南向きで大きく明るく日当たりもいいので、一人暮らしをするようになって以前より、朝もスッキリ目覚めることができるようになりました。

キッチンも広いので、自炊も週5回くらいは頑張っています。お菓子作りにもチャレンジしています。

立地や設備にも何の不満もありません。私はこんないいお部屋に入居できて本当にラッキーだったと思います。

これからお部屋探しを始める方は、見た目や外観だけにとらわれず、しっかりした造りのマンションを選ぶことをお勧めします。近隣からの生活音に悩まされることもなく、ストレスのない生活を送ることができると思いますよ。

Case. 03

神戸大学 医学部保健学科



私のお部屋探しは、合格発表後、大学生協から始まりました。

まずは、どのエリアに住むかを決めなくてはなりません。キャンパスに近いエリア・キャンパスから少し離れた家賃重視のエリア・地下鉄で通学のできる生活の便利なエリアと選択肢がありました。そこで生協スタッフの方のアドバイスは「生活に便利な地下鉄で通学できるエリアが学生人気NO.1でおすすめですよ!!」すぐにお部屋を内覧することにしました。

入ってすぐに目についたのは、お部屋の壁一面に設置されたハンガーパイプ付吊棚でした。たっぷり収納できて便利そうだなと思いました。

生協スタッフの方に、ほかの物件の内覧をすすめられましたが、私はほかの物件を内覧している間に、このマンションがなくなってしまうかも...と思い即決しました。

アドバイス通り『学生人気NO.1のエリア』だけに生活しやすく、通学やアルバイトにもJR・私鉄・地下鉄と3WAYで本当に便利です。

皆さんもまずは生協スタッフの方に希望を伝え、後悔のないお部屋探しをしてくださいね。